

会議録（要旨）

会議名	第7回姫路市新美化センター建設候補地選定委員会
開催日時	令和5年8月30日（水） 14時～15時30分
開催場所	姫路市役所本庁舎10階 第1会議室
出席者 （委員）	佐野副市長（委員長）、福田農林水産環境局長（副委員長） 井上政策局長、柳谷政策局危機管理担当理事、澤野職員部長（総務局長代理）、石田財政局長、沖塩市民局長、大前観光経済局長、柳本建設局長、植田上下水道事業管理者
議題	1 第5回選定委員会での指摘事項（三次選定関係）に対する考え方について 2 新美化センター建設候補地三次選定について 3 建設候補地選定の今後の進め方について
資料	資料1 第5回選定委員会での指摘事項（三次選定関係）に対する考え方（案） 資料2 新美化センター建設候補地三次選定結果（案） 資料3 新美化センター建設候補地三次選定評価資料 ※非公開

内 容

1 開会あいさつ（委員長）

先日は各グループに分かれて現地視察を実施し、各候補地の状況が把握できたと思う。

本日の委員会では、前回の委員会での指摘事項を整理したうえで、各候補地の三次選定の評価案について審議を行う予定である。特に用地取得費や用地整備費の算出など細かな点については、評価の方法や評価案などの説明に懸念はないか、評価の公平性は保たれているかといった視点からも十分に確認をしてほしい。

評価案については、これまで同様、会議後一旦各所属に持ち帰って十分に確認いただき、次回改めて審議する予定である。

候補地も絞られ、また広報活動によって、市民の皆さまの関心が高まってきているので、建設候補地に関する情報の取扱いについては、これまでで上一層の注意をお願いしたい。

2 議題

(1) 第5回選定委員会での指摘事項（三次選定関係）に対する考え方について

事務局より「資料1 第5回選定委員会での指摘事項（三次選定関係）に対する考え方（案）」について説明

主な意見等

- ・事務局案では「マンホールポンプの設置などにより実現可能な整備を想定する」となっているが、三次選定に残っている候補地の中で、マンホールポンプの設置を想定している候補地はあるのか。

⇒2カ所の候補地でマンホールポンプでの排水を想定している。

議題1については、事務局案のとおりとし審議を進める。

(2) 新美化センター建設候補地三次選定について

事務局より「資料2 新美化センター建設候補地三次選定結果(案)」、

「資料3 新美化センター建設候補地三次選定評価資料」について説明

主な意見等

- ・評価項目③「通学路への配慮」と④「繁華街及び住宅地域の通過の有無」は、住宅の多い地域への配慮という点で、結果的に配慮地域が似通っている。どちらも同種類の内容であり各10点の配点となっているので、配点のバランスを再考してはどうか。

⇒できるだけ多くの視点で評価をするため、別々の評価項目として採用した。

本日の意見もふまえて考え方を整理し、第8回委員会で改めて事務局案を報告したい。

- ・評価項目⑩「想定される用地整備費」の算定の内容が、各候補地の用地の特性によって必要となる経費が算定に含まれていないが、算出経費をこの項目だけに絞った意図は何かあるのか。

⇒各候補地の用地の特性により必要となる経費は、調査等を実施していない選定の時点では想定でしかないので、経費として算入するのは難しいと考える。場所と現状から判断できる道路整備やユーティリティーに関する項目を中心に算定した。

本日の意見もふまえて考え方を整理し、第8回委員会で改めて事務局案を報告したい。

- ・評価項目⑪「収集運搬に係る総走行距離」の算出方法は理解したが、各美化センターに搬入する校区を地図上で見ると、市域の東西や南北、あるいは地区ごとといったまとまりがなく不規則である。なぜ実際に運用されている収集エリアに沿った校区分けて計算しないのか。

⇒誰が評価を行っても同じ評価になるよう、主観的な要素を除いた計算方法で算出した。

本日の意見もふまえて考え方を整理し、第8回委員会で改めて事務局案を報告したい。

(3) 建設候補地選定の今後の進め方について

事務局より説明

- ・二次選定で選外となった情報提供者への結果通知について、第5回選定委員会終了後、委員長、副委員長と通知の時期及び内容について協議し、8月16日付文書にて情報提供者へ通知を行った。

- ・第6回の選定委員会として、三次選定対象の4カ所の候補地について、8月3日から10日にかけて4回に分けて現地視察を実施した。

- ・今後の選定委員会の予定は、次回以降の選定委員会で三次選定結果について審議し、第1位となったところを優先候補地として選定した後、市長へ報告したうえで、優先候補地となった地域の関係者へ説明に上がり、理解を求めていくこととしたい。また、令和6年1月頃には住民説明会を開催できればと考えており、地域住民に対し丁寧に説明し理解を求め、ある程度の合意形成の見込みがついた段階で経営会議に諮り、建設候補地

として最終決定したうえで公表することとしたい。また、市議会にも適宜報告しながら進めていく。

主な意見等

- ・住民説明会を実施すると、健康被害などについて専門家の意見を求められることが想定されるが、外部の専門家に意見を求める考えはあるのか。
⇒必要であれば専門家の意見等を聴取し対応していきたい。
- ・公表前に住民説明会を実施すると新聞等のメディアに報道されることが想定されるが、報道された後に議会へ報告するということか。
⇒選択肢としては、地域住民に説明してから議会へ報告か、議会へ報告してから住民に説明か、二つの選択肢しかない中で、結論としては、住民ファーストで先に住民に説明したい。先に住民に説明会を行うと、新聞等で報道される可能性もあるが、議会には事前に説明し理解を求めていく。

3 その他

- ・各委員において資料を再度確認し、意見等あれば9月22日までに事務局へ連絡すること。

閉会

事務局：第8回委員会は10月19日に開催予定とする。

後日提出された意見（9/22 意見締切）

意見なし。